

レポート課題集2015F

〔高等学校福祉科 教諭免許状関連科目〕

●高等学校教諭一種免許状（福祉）取得は平成26年度までの入学者のみの登録者のみが可能です。

・平成23年度以降入学者用のカリキュラムはp. 2～3参照

●教諭免許状取得希望者への重要なお知らせ

本学では、平成27年度に学部改組がなされました。教諭免許状を出す課程は文部科学省からさまざまな制約を受けているため、平成29年度までに高等学校教諭一種免許状（福祉）・特別支援学校教諭一種免許状の教育実習を終えていただくをお願いいたします。

科目等履修生への変更など再入学手続きを行うと高等学校教諭一種免許状（福祉）は取得できなくなります。ご注意ください。

●総合演習未受講で5条別表1で免許状取得希望の方へ

平成24年度までに「総合演習」を単位修得した方以外の5条別表1による高等学校福祉科免許状取得希望者は、「教育実習」終了後に「教諭実践演習（高）」のスクーリングを受け、単位修得が必要です。さらに「教諭実践演習（高）」を履修する方は毎年「履修カルテ」を提出することが必要です。

6条別表4（教育職員検定）による高等学校福祉科免許状取得希望者は、「教諭実践演習（高）」や「教育実習」の履修の必要はありません。

高等学校教諭一種免許状（福祉）に関する科目（平成23年度以降入学者用）

【重要】本学の事情により、福祉科免許状取得希望者は平成29年度までに教育実習や教職実践演習の学習を終えていただきますので、ご了承ください。

教育職員免許状を希望する方は、「教育職員免許法」にもとづいて、所定の科目を履修する必要があります。本学では、次表以下に掲載された「教職に関する科目」「教科に関する科目」のすべての単位を修得し、卒業することで、原則として「高等学校教諭一種免許状（福祉）」の取得が可能です（「教育職員免許法」5条別表1）。すでに、他の大学を卒業されている方は本学通信教育部の卒業は必要ありません。

また、いずれかの教科の高等学校教諭一種（または専修）免許状をすでにお持ちの方は、「教育職員免許法」6条別表4（教育職員検定）の方法で取得してください（『学習の手引き』3章参照）。

1 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	本学の開設授業科目	単位数	配当年次	履修方法	掲載しレポート課題集
教職の意義等に関する科目 (第二欄)	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職論	2	1年以上	R	本冊子
教育の基礎理論に関する科目 (第三欄)	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	4	1年以上	R	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育心理学				2
教育課程及び指導法に関する科目 (第四欄)	教育課程の意義及び編成の方法	6	高等学校教育課程の意義と編成	2	2年以上	R	本冊子
	各教科の指導法		◎福祉科の指導法	4	2年以上	R	D
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2	2年以上	R	本冊子
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 (第四欄)	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論（視聴覚教育等を含む）	2	2年以上	R		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）	2	2年以上	R		
教育実習（第五欄）	進路指導の理論及び方法	4	カウンセリング	2	2年以上	R	本冊子
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
教職実践演習（第六欄）	教育実習	3	教育実習の事前事後指導	1	3年以上	SR	
	教育実習		2	3年以上	実習科目		
教職実践演習（第六欄）		2	教職実践演習(高)*	2	4年	SR	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	本学の開設授業科目	単位数	配当年次	履修方法	掲載レポート課題集
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目						
日本国憲法	2	法の基礎（日本国憲法を含む）	4	1年以上	R or SR	B
体育	2	健康科学	2	1年以上	R	
外国語コミュニケーション	2	コミュニケーション英語	2	1年以上	SR	
情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	2	1年以上	R or SR	

(注) ・教育実習を履修するためには、事前に「教職に関する科目」「教科に関する科目」の大半を履修している必要があります。

2 福祉科一種免許状の教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	本学の開設科目名	単位数	履修年次	履修方法	掲載レポート課題集
社会福祉学（職業指導を含む。）	各科目1単位数以上計20単位	◎社会福祉原論（職業指導を含む）	4	2年以上	RorSR	A
高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉		◎高齢者福祉論	2	1年以上	RorSR	
		◎児童・家庭福祉論	4	1年以上	RorSR	
		◎障害者福祉論	4	1年以上	RorSR	
社会福祉援助技術		◎社会福祉援助技術総論	4	2年以上	RorSR	
		○社会調査の基礎	2	3年以上	RorSR	
		○福祉行財政と福祉計画	2	3年以上	RorSR	
		○福祉経営論	2	3年以上	RorSR	
介護理論及び介護技術		◎介護概論	2	1年以上	RorSR	
		◎介護技術	2	3年以上	SR	
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）		◎介護実習事前事後指導	1	3年以上	SR	D
		◎介護実習	2	3年以上	実習科目	
人体構造及び日常生活行動に関する理解		◎医学一般	2	2年以上	RorSR	A
		◎生活行動と人体	2	2年以上	R	B
加齢及び障害に関する理解		◎老年心理学	4	3年以上	RorSR	C
		◎障害の理解	1	1年以上	R	B

(注1) 平成23年度以降の入学（編入学を含む）の、高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者は、必ず上表記載の16科目40単位の履修が必要です。

・旧法による免許申請は平成26年3月31日で終了しました。

(注2) 平成22年度以前の正科生への入学者はその学籍を継続する限り、上表とは異なる入学時のカリキュラムで高等学校教諭一種免許状（福祉）の免許状が取得できます。

教育原理

単位数	履修方法	配当年次
4	R	1年以上



科目コード **EC2301** 担当教員 **寺下 明**

■科目の内容

現代日本の教育は、混迷した厳しい状況にあり、問題は深く複雑です。混迷の要因の一つとして、教育における理念の不明確さや人間理解の矮小化があげられます。今日の教育問題を解決するためにわたしたちは、教育あるいは人間形成とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。何故、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは一体何か、という問いにわたしたちはいま直面しているのです。古くて新しい問いかけです。その問いに対する何らかの解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるはずです。

■到達目標

- 1) 教育についての関心を深め、今後の学修のための基礎知識の習得を目標とする。
- 2) 教育の理念や教育に関する歴史および教育理論に関わる内容について習得する。
- 3) 生涯教育の視点からの教育改革の動向や学校教育を取り巻く状況の変化、社会的な要請等についての認識を深める。

■教科書

寺下明著『教育原理 第2版』ミネルヴァ書房、2013年
(最近の教科書変更時期) 2013年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	教育とは何か (第1章)	教育とは何かについて語源や文献をもとに学ぶ。その背景にある人間把握について考えを深める。 キーワード：伝達、就巢性、可塑性、生理的早産、社会化、狼に育てられた子	教育とは何かについて、人間は「教育的存在」であるという視点から考えてみるのが重要。
2	人間の成長・発達 (第2章)	遺伝と環境を踏まえて、人間の成長・発達について学ぶ。 キーワード：タブラ・ラサ説、環境閾値説、三歳児神話	子どもの成長と発達の特徴をとくに文化的環境や教育との関連で考えてみる。
3	脳科学からみた発達 (第2章)	脳科学の最新の知見から、子どもの発達と教育について考察を深める。 キーワード：アタッチメント、社会脳、利己的な遺伝子、文化化	社会脳説を中心に人間は文化的環境によってつくられるのかを検討してみたい。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	子ども観と子育て①西欧の子ども観 (第3章)	西欧の子ども観の変遷をたどる。 キーワード：小さな大人, 精神白紙説, 近代家族, 子どもの誕生	子ども観の変遷をたどりながら, 子どもはいかなる意味の世界に生きてきたのかを通して, 逆に人間存在とは何かを問い直してみたい。
5	②日本の子ども観 (第3章)	日本の子ども観と子育てについて, 西欧と比較しながらその特徴について考察する。 キーワード：子宝思想, 母性原理社会, 甘え, 恥の文化, 7歳までは神のうち	子ども観と子育てのあり方を欧米と比較することによって, そこに浮かび上がる日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにしたい。
6	教育の目的 ①古代・中世の教育目的 (第4章)	教育の目的はその実践を方向づけるものとして重要である。そこで, 教育の理想ないし目的が, 時代や社会とともに変化し, 国家や社会の事情によって異なることを概観する。 キーワード：ソフィスト, イデア, ログス, 自由七科	古代の教育目的の根底にどのような子ども観や人間観があるのかを考えてみたい。
7	②ルネッサンス期・近代の教育 (第4章)	ルネッサンスや近代の考え方は, 教育にも影響を与え, 教養を中心とした心身の調和的発展をめざす人間形成が理想とされた。時代の流れとその背景を把握する。 キーワード：人文主義教育, 公教育, 新教育	近代においてさまざまな教育改革が行われたが, その背景にあるルソーやペスタロッチ, コンドルセ, デューイの教育理論についても理解しておきたい。
8	③日本の近代教育 (第4章)	日本の近代における教育の目的を理解する。 キーワード：学制, 教育勅語, 大正自由教育	「富国強兵」を国家の目標に掲げた近代日本の義務教育の制度はどのような教育観であったのか考察を加えたい。
9	④日本の戦後教育 (第4章)	戦後教育の教育理念について理解する。 キーワード：アメリカ教育使節団, 教育基本法	教育の目的は何か, 何のための教育かを問うことは, 教育によって実現される価値や意義を追求し, 教育の本質を明らかにすることにもなる。
10	日本の近代化と教育 ①江戸時代の教育遺産 (第5章)	日本が近代化に成功した要因として, 近代以前における教育の普及と充実を理解しておきたい。 キーワード：寺子屋, 藩校, 私塾	江戸時代にはさまざまな教育の場があり, 豊かな教育活動が行われていた。その中でも, 庶民の教育機関であった寺子屋について, その現代的意義を学んでおきたい。
11	②儒教の伝統 (第5章)	儒教は学問や教育を重視することから, 国民的規模での教育水準の高さが生み出される。それが近代化の原動力になったのかを検証する。 キーワード：儒教文化圏, 社会倫理	江戸時代の支配的イデオロギーであった儒教は, さまざまな批判があるにもかかわらず, 日本の近代化に貢献したことを考察する。
12	③立身出世と学校 (第5章)	学問や教育が立身出世につながるということが, 以後の日本の社会の基本信念となり, 学校信仰を生み出していくことを学ぶ。 キーワード：札幌農学校, 科举, 学歴社会, 近代公教育	日本における学校の優越性は, お上の学校の性格としてだけでなく, 民衆の側から見て, 実利的効用という点で, 学校はその価値を認められるようになったことを理解する。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
13	現代教育に問われているもの ①戦後教育(第6章)	戦後教育の流れとその背景を学ぶ。 キーワード：スプートニク・ショック, 落ちこぼれ, 不登校, いじめ, 学級崩壊	学習指導要領改訂の変遷をたどりながら, 現代社会の縮図としての学校教育の問題点を検討する。
14	②生涯学習と教育改革(第6章)	これからの教育をどのように構想していけばよいかを探求する。 キーワード：学習社会, 自己実現, ラーニング・ツー・ビー	生涯学習はこれまでの教育に大きなパラダイムの転換をもたらした。学校教育の改革を生涯学習体系のなかに位置づけて展望したい。
15	③学校教育の課題(第6章)	学校教育の抱える課題について考える。 キーワード：ハイパー・メリトクラシー, 隠れたカリキュラム	学校教育の課題については, 教育は理想社会をめざして, 現実を自ら作り変えられるような人間を育成するところに求められているという視点から考えてみたい。

■レポート課題

1 単位め	カントの「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」という言葉の意味について述べなさい。
2 単位め	日本における子ども観について述べなさい。
3 単位め	日本の近代化において, 教育の果たした役割について述べなさい。
4 単位め	学校とは何か。家庭, 地域社会との関係で論じなさい。

■アドバイス

各課題についてテキストおよび関連文献を参考にして, ただ「丸写し」するのではなく, 自分の言葉で, 理解された内容をまとめるように心がけてください。テキストの内容を十分に踏まえたうえで, 他の文献や自分の意見などを加えるのは自由です。

1 単位め アドバイス

教育とは何か。これを考えてもらうのがここでの学習の出発点となります。教育を説明することは難しい。その難しさは, 実は教育という行為が直接人間に関わるからです。教育の問題は, 根底において, 多義的で不可解な人間そのものに対する問いに深く関わっています。教育は, 人間についての把握がなければ不可能です。教育とは何かの問いは, われわれにとって永遠の課題の一つです。ここでは, 人間は教育を必要とし, 教育の可能な動物, すなわち, 教育的存在としての人間という観点から, 教育の意味について考えてみましょう。

2 単位め アドバイス

子ども観を, 子どもに対する明確に意識され概念化されたイメージと考えるならば, それは西欧近代の産物です。もちろん, 日本にも子どもを大人と違った存在として慈しみ育てる慣習と, 断片的なイメージはありました。しかし, 子どもをどう見るかということに明確な

視点を与えてくれたのはルソーの『エミール』です。したがって、子ども観の考察は、まず西欧の子ども観の探究からはじめ、それがいかなる背景のもとで成立したのか、また、実際の教育にどのような影響を及ぼしたのかについて考えることが大切です。そして、西欧の子ども観と日本の子ども観を比較しながら、日本における子どもをめぐる問題の特殊性を明らかにしたい。子どもは、いかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に全体として人間存在を問い直してみることがねらいです。

3単位め アドバイス

日本が「近代化」に成功したのは、単に後発の利点を生かし、他国のまねをして、キャッチ・アップしたわけではありません。いくつかの要因が整っていたことの結果であると考えられます。ここでは、その重要な要因として、近世からの教育の普及と充実を取り上げてみたいと思います。特に、教育の質を上げることが重要です。しかし、日本が近代化を実現していく過程で、近代化が遅れていたがゆえに、教育によって先進文明を効率よく伝達しようとしてきました。伝統からの脱皮を急ぎつつ、先進文明を大量に伝達しようとしてきました。そこから教育行政の中央集権化がはじまり、その結果として学校文化の「画一化」が生じてきました。それは、いわば近代化の遅れがもたらしたものです。その点を十分踏まえながら、日本の近代化に果たした教育の役割についてレポートを作成してください。

4単位め アドバイス

近代における公教育制度は、国家の文明化と豊かな産業社会の実現をめざすシステムでありました。今日、日本の識字率、就学率、高学歴は世界の最高水準に達し、公教育以外にもさまざまな教育の機会が充実し、もっとも学校化された社会の一つを実現しています。しかし、80年代その量的制度的拡充がピークに達した頃から、校内暴力、不登校、いじめ問題等が深刻さを増し、その「制度疲労」が目立つようになってきました。近代の、学校を中心とした教育システムが自明としてきた原理そのものが崩壊してきたのです。こうした現代日本における実態についてテキストにこだわることなく、自分で実態を考察し、そこから考えたことを十分取り入れて課題にアプローチしてください。

■科目修了試験 評価基準

①問題の意図を正しく理解し、問題にそって論理的に解答がなされている、②自分なりの視点をもって問題に取り組んでいる、③専門用語の意味などについて正確に理解している、などを基準に評価する。

■参考図書

大田堯著『教育とは何か』岩波新書、1990年

恒吉僚子著『人間形成の日米比較』中公新書、1996年

河上亮一著『教育改革国民会議で何が論じられたか』草思社、2000年

教職論

単位数	履修方法	配当年次
2	R	1年以上



科目コード **EC2702** 担当教員 **寺下 明**

※この科目は、高等学校教諭一種免許状（福祉）用の「教職論」です。幼保特例講座の「教職論」（幼稚園教諭免許状取得用）は、『幼保特例講座科目ガイド』をご覧ください。

■科目の内容

平成10年教育職員免許法が改正され、「教職に関する科目」のなかに「教職論」が新設されました。本科目のねらいは、現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を考察し、教職とはどんな仕事か、その基本的な性格や社会的使命などのついでに理解を深めることにあります。

■到達目標

教員の専門性や教職の魅力を学び、教員を目指す上での基本的認識を高めることができるようになる。

■教科書

教職問題研究会編『教職論（第2版）』ミネルヴァ書房，2009年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	教職の意義と教員の使命・資質 ①教師の歴史と教師論（1章）	教師の歴史、教職がどのような経過で職業として、社会制度として成立したのかを学ぶ。	教員のあり方についての論争、すなわち聖職論、労働者論、専門職論などを経て、今どう考えられているのかについて理解する。
2	②教職の成立と求められる教員の資質の変遷（1章）	21世紀の教員のあり方や期待される教員資質について学ぶ。	いつの時代にも求められる教員の資質能力と今後求められる具体的資質能力について考える。
3	③現代社会の教育的諸問題と教職の課題（1章）	現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を学ぶ。	激動する社会、急変する教育界のなかで、教師の使命や役割は、どうあったらいいかを考察する。
4	教員の仕事と役割①教科指導（2章）	教員の職種と職階を明らかにした上で教員の仕事、教科指導について理解する。	これからの教科指導として、学習指導要領との関連や学校全体の協力的指導体制づくりについて考察する。
5	②学校経営・学級経営（2章）	学校経営や学級経営について学ぶ。	現在の学校にどのような校務があるのか明らかにするとともに、学級担任としての仕事を理解する。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
6	③保護者・地域・関係機関と教員（2章）	学校と保護者・地域と関係機関との関係について考える。	学校と保護者や地域との、より具体的な相互関係や協力体制について考えてみる。
7	教員の研修と服務規程①教員の研修（3章）	教員の研修について、法的な視点から考える。	教員研修の実施体系とその法的規定を中心に学ぶ。
8	②教員の服務規程（3章）	学校教育法に基づき教員の服務規程とその職務内容を理解する。	教育公務員としての教員が、職務を遂行する上で服さなければならないさまざまな服務規程について考察する。
9	③学習指導要領と教員（3章）	教員による教育活動の法的な内容基準を示している学習指導要領の性格について学習する。	学習指導要領の変遷と教科書および日の丸・君が代の問題についての議論を考える。
10	初等・中等教育と教員①幼稚園の教員（4章）	幼稚園教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。	幼稚園教育の基本と特性を把握し、望ましい幼稚園教員について考える。
11	②小学校の教員（4章）	小学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。	小学校教育の基本と特性を把握し、望ましい小学校教員について考える。
12	③中学校の教員（4章）	中学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。	中学校教育の基本と特性を把握し、望ましい中学校教員について考える。
13	④高等学校の教員（4章）	高等学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。	高等学校教育の基本と特性を把握し、望ましい高等学校教員について考える。
14	⑤特別支援学校の教員（4章）	特別支援教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。	特別支援教育の基本と特性を把握し、望ましい特別支援学校教員について考える。
15	教員養成と教職課程（5章）	教職課程の意義と履修方法、および適性について考える。	教職課程の履修を通して、教職に課せられた責任と使命を自覚し、教職に対する自己の適性について吟味することが必要である。

■レポート課題

1 単位め	教職の意義と教員の使命について
2 単位め	教員の仕事と役割について

■アドバイス

各課題について、テキストや参考文献を「丸写し」するのではなく、自分の言葉で理解した内容をまとめるように心がけてください。

1単位め
アドバイス

教職とはいかなる仕事か、専門性の高い基本的な性格を理解し、激動する社会の中で、教師の使命や役割について、その求められる資質をふまえてまとめましょう。

2単位め
アドバイス

学校では、さまざまな教職員が校務を分担しています。まず、教員の職務内容を把握してください。そして、今日多発する「いじめ」「不登校」「学級崩壊」に対して、教員としてどのように取り組むのかを考えることによって、職業人としての教員についての理解を深めましょう。

■科目修了試験 評価基準

①問題の意図を正しく理解し、問題にそって論理的に解答がなされている、②自分なりの視点をもって問題に取り組んでいる、③専門用語の意味などについて正確に理解している、などを基準に評価する。

■参考図書

佐伯胖・黒崎勲編『教師像の再構築』（岩波講座6 現代の教育）岩波書店、1998年

高等学校教育課程の 意義と編成

	単位数	履修方法	配当年次
	2	R	2年以上
科目コード	EC3703	担当教員	吉井 宏



■科目の内容

1999年3月、高等学校学習指導要領の全面的な改訂が行われ、専門教育の中に新たに「福祉科」が加わりました。またこれに先立って、98年には教育職員免許法が改定されました。そして改定に伴い「教職に関する科目」の中に「高等学校教育課程の意義と編成」が誕生しました。

高校福祉科の教員免許取得を希望する者にとっては基本となる科目です。そこで学習指導要領が示す教育課程とはどのようなものなのか、改訂の要点に注目しつつ、その編成について高等学校学習指導要領の総則に従って理解を深めていくことにします。

■到達目標

- 1) 「学校において編成する教育課程の意義」について明確に定義づけられる。
- 2) 「学校における教育課程編成の原則」について述べることができる。
- 3) 学習指導要領とはどのようなものか正しく説明できる。
- 4) 教育法規における「学校教育の目的や目標」の条文を諳（そら）んじている。
- 5) 教育基本法に関する基礎的知識（意義、条文内容、新旧基本法成立経緯等）をもち、その内容を解説できる。

■教科書

文部科学省『高等学校学習指導要領解説・総則編』東山書房、2009年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	改訂の経緯 (第1章総説 第1節)	学習指導要領が改訂された社会的背景と改訂の経緯について学ぶ。 キーワード：知識基盤社会、PIISA調査、中央教育審議会、教育基本法	知識基盤社会・グローバル社会の中で、我が国の子どもたちの課題が明確になり、学習指導要領の改訂が必要であると判断されました。ここでは新教育基本法の発布にも注意しつつ、改訂の経緯を確実に理解しましょう。
2	改訂の基本方針 (第1章第2節)	学習指導要領改訂の基本方針について理解する。 キーワード：生きる力、思考力、判断力・表現力、確かな学力、豊かな心、健やかな体	生きる力を支えるのは、確かな学力、豊かな心、健やかな体であると中教審は提言しましたが、新教育基本法等との関連で、それらがどのように学習指導要領に位置づけられたかを考えましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
3	改訂の要点 (第1章第3節)	「学習指導要領解説 総則」に記載された改訂の要点を学ぶ。 キーワード：各教科・科目、単位数、履修等、時数、配慮事項	学習指導要領の「総則解説編」は学習指導要領全体に関する事項について述べたものであり、学習指導要領を補完する性質の文部科学省著作物です。従ってそこに書かれた内容については、十分に尊重して理解するようにしたいものです。
4	教育課程の意義 (第2章第1節)	学習指導要領上、教育課程はどのように定義づけられているか学ぶ。 キーワード：教育課程、教育課程編成	学校において教育課程を編成する上で、三つの要素があることに気付き、学校において編成する教育課程の意義を理解するようにしましょう。
5	教育課程に関する法令 (第2章第2節)	学習指導要領は教育課程の国家的基準であることを学ぶ。 キーワード：教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則	学習指導要領は教育課程の国家的基準であることから、教育関連法規との関わりが深いことを理解するとともに、なぜ学習指導要領が教育課程の国家的基準となるかを考える。
6	教育課程の編成及び実施 (第3章第1節①)	教育課程編成の主体は校長を中心とする学校にあること、また編成の原則を学ぶ。 キーワード：編成の原則、編成の主体	学校が編成する教育課程は、地域性や学校の実態に配慮しつつ、教育基本法以下の法規や学習指導要領に従って編成するものであることを理解することがポイントです。
7	課程・学科、心身の発達、生きる力 (第3章第1節②)	教育課程編成の配慮事項には、課程や学科、生徒の心身の発達があり、それらを考慮の上で生きる力を育成する必要があることを学ぶ。 キーワード：生きる力	教育課程を編成する上では、課程や学科の特色を考慮し、生徒の心身の発達についても配慮することで生きる力を育む必要があることを理解しましょう。
8	道徳教育、体育保健教育、体験的学習 (第3章第1節③)	道徳教育及び体育・健康に関する指導、体験的学習の指導に関して理解する。 キーワード：道徳教育、体験学習、総合的な学習の時間	道徳教育の目標及び体育・健康教育の目的、キャリア教育と体験的学習の関連など、一個の人間として学ばせる重要な課題であることに注目し、それぞれの教え方について深く考えるようにしましょう。
9	各教科・科目及び単位数 (第3章第2節)	単位の考え方を学び、卒業までに履修させる単位数や各学科共通の教科・科目等の標準単位数、学校設定教科・科目について学ぶ。	今回の改訂で示された教育課程の具体的な中身について学ぶ節です。各学科共通の教科・科目、教科以外の活動について熟知し、それが現代の高等学校のあり方とどのように関わるかを考えてみましょう。
10	各教科・科目の履修等 (第3章第3節)	必履修教科・科目の種類及びその単位数、また履修上の留意点などについて学ぶ。 キーワード：必履修教科・科目	専門学科や総合学科とはどのようなものか、教科・科目の履修という観点から見る必要がありますが、学びの中心は、すべての生徒に履修させる教科・科目を意味する「必履修教科・科目」です。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
11	各教科・科目等の授業時間数 (第3章第4節)	年間授業日数及び週当たりの授業時数の制限のもと、各教科・科目以外にもHR活動、生徒会活動、学校行事、総合的な学習の時間などの授業時間数について学ぶ。	HR活動、生徒会活動、学校行事、総合的な学習の時間などが授業時間数との関わりでどのように設定されているか、細かな点にも注意して理解するよう努めましょう。
12	教育課程の編成・実施に当たったの配慮事項 (第3章第5節)	各教科・科目に関する事項の他、道徳教育や職業教育など、指導計画の作成段階から実施に至るまで、教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項について学ぶ。	教育課程を作成し実施するに当たっては、生徒指導や進路指導など学校生活のあらゆる場面・領域との関連を配慮しなければならないのですが、そのことをしっかりと理解することが、教育課程の意義と編成を理解する第1歩でもあることを知ってください。
13	単位の修得及び卒業の認定・通信制の課程における教育課程の特例 (第3章第6・7節)	単位の修得の認定、卒業までに修得させる単位数及び卒業の認定に関する規定を学ぶとともに通信制の課程における教育課程の特例を理解する。	単位の修得は、各教科・科目の目標に照らして満足がいくと認められたときに認定され、その積み重ねによって卒業も認定されます。ところが留学など、通常の形態以外にも履修及び修得の形態は様々であることを理解しましょう。
14	教育課程編成の手順と評価 (第4章)	教育課程を編成するには綿密な立案計画が必要であること、学校の教育目標との関連が深く関係することを学ぶ。また学校評価における教育課程評価についても学ぶ。	学校は、法及び学習指導要領に従うだけではなく、学校の教育目標に適合する教育課程を作成する必要があることを理解しましょう。また実施後については、常に学校評価との関連で教育課程の評価を行わなければならないことも理解しましょう。
15	中等教育学校等における教育課程の基準 (第5章)	中高一貫教育の形態には、中等教育学校のほかに併設型、連携型の中学校・高等学校もある。それぞれによって教育課程は異なり、その基準及び特例が必要であることを学ぶ。	中高一貫教育の3形態には、それぞれの事情に応じた特色があり、それは教育課程の編成に反映されます。そこで特徴についてよく理解すると同時に、教育課程の基準も特例を持つことを理解しましょう。

■レポート課題

1 単位め	学習指導要領上、教育課程とはどのようなものか、また教育課程編成の原則とはどのようなものか、まとめなさい。
2 単位め	学習指導要領改訂の基本方針をふまえて、改訂の要点をまとめなさい。ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい。

■アドバイス

課題についてレポートを書くのに、最低、テキスト1冊があれば事足ります。ただし精読しなければいけません。

『高等学校学習指導要領解説・総則編』は、いうまでもなく2009年3月に公示された『高等学校学習指

『学習指導要領』の第1章総則について、文部科学省が解説を加えたものです。学習指導要領そのものではありませんが、これがないと学習指導要領が理解しきれません。

学習指導要領が各学校段階ごとに編纂されるようになって、もう随分年月がたちますが、この形式のまま総則や各教科・特別活動などの細部にいたるまで記述したとすると、膨大な紙数が必要となります。そこで詳述を避け、必要最低限だけを列記したのが現行の学習指導要領ということになります。しかしそれでは読者がさまざまに解釈してしまうおそれが生じます。そうなれば教育課程の基準であるという学習指導要領の基準性が揺らぐことになりかねません。ですから問題が起きないように、文部科学省は公式注釈書を作成する必要があったのです。そのようにして、解説編は学習指導要領が改訂されるたびに文部科学省自身の著作として発表されてきました。

冒頭で、この1冊を精読すればレポートが書けると述べたのは、そうした事情があったからなのです。ところが実際にテキストを開くと、字面は追えるのに結局何が書いてあるのかよくわからない、という声もしばしば耳にします。確かに意味がつかみにくい文章かもしれません。しかし焦らなくてください。真面目に取り組めば取り組むほど悩まされるかもしれません。しかし「読書百遍、意自ずから通ず」といいます。文章がどのような構成になっているかを把握しながら読み進んでみてください。学習指導要領はしばしば教員採用試験にも出題されます。それを意識してノートにまとめてみるのも良いでしょう。頭の中だけでは理解しにくいことも、書いてみると案外簡単にわかるということもあろうかと思えます。

ただ初めて教職を目指す方は、一見すると何でもないような用語にも十分気をつけてほしいものです。教科と科目の違いはおわかりですか。学校教育の目的と目標との違いについては大丈夫でしょうか。それどころではありません。肝心の「教育課程」の定義まで専門家によって見解の分かれるところです。教育課程は一般にカリキュラムの訳語として理解されますが、特別活動を教育課程には含めるがカリキュラムには含めないという考えがあります。このように厄介なものですから、気になる教育用語は、簡単な用語集などを横に置いてこまめに調べてみてください。

1単位め アドバイス

教育課程とはどのようなものかといっても、いわゆる教育専門書が教育課程をいかに定義づけているかをレポートせよと言っているわけではありません。あくまでも2009年に発表された学習指導要領ではどのように記していますが、ということなのです。しかしそうはいつでもまったくイメージが湧かないのも困りますから、まずは「教育課程」とはどのようなものか、その意味を理解してください。あまり高度な専門書を選ぶ必要はありません。辞書的な解釈だけでもよいのです。

さて、それが理解できたらよいテキストです。「第2章 教育課程の基準」を開いてみましょう。「第1節 教育課程の意義」では、学校がその学校の教育課程を編成するには、まず教育課程に関する法令や学習指導要領に基づく必要があると説いています。私立学校といえども公教育に携わるからには、国が示す学校教育の目的や目標を逸脱することは許されません。その範囲内で学校独自の目的や目標を定める必要があるのです。次に学校は学校独自のそれらを達成するために、その学校にふさわしい指導内容を選択し組織する必要がありますが、これも国が示す範囲を守る必要があるということです。そうであれば「第2節 教育課程に関する法制」も、レポートを書くに当たって無視することはできないでしょう。

さあ、ここまでがおよそレポートの前半の課題「教育課程とはどのようなものか」についての解説ということになります。第2章をまとめたら一気に第3章に読み進みましょう。第3章は「教育課程の編成及

び実施」について書いてありますが、あまりここで解説しすぎてもみなさんが考える余地を奪ってしまいそうですから、一言だけ触れておきます。レポート後半の課題「教育課程編成の原則とはどのようなものか」については、第3章全体をまとめるよう言っているのではありません。「第1節 教育課程編成の一般方針」の中の「1 教育課程編成の原則」に注目すればよいのです。これと第3章を上手に組み合わせてください。

以上、テキストでいえば第2章および第3章第1節「1 教育課程編成の原則」をじっくり読んで、まとめてみてください。

2単位め アドバイス

この課題はテキストの第1章をまとめればよいのですが、要点は改訂の基本方針をどのような形で実現化しようとしているのか、理念と具体的な改訂内容との関係を十分見極めてレポートしなければならない点です。1単位めの課題と異なり、おそらく理解しやすい内容だと思いますが、第1節には「改訂の経緯」が書いてあります。改訂の背景となる3つの要因に触れていません。教育課程を改善しなければならない理由が書かれているのですから、この節をまとめることから始めてください。第2節以下が理解しやすくなるはずですが、ほかに第3章第2節、第3節1も大事です。

レポート課題には「ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい」と書きましたが、<福祉>はしっかり覚えて下さい。みなさんが取得を希望している教科だからです。

なお、1単位め、2単位めのレポートを深めるためには、ここまでの記述で掲げてきた章・節だけでは足りません。全体を読み通してはじめて理解できることもあるはずですが、是非この一冊を最初から最後まで丹念にお読みください。

■科目修了試験 評価基準

科目修了試験では、到達目標やレポート課題記載の内容について問うので、題意を把握し、内容を理解し論述しているかについてをポイントに採点します。

■参考図書

安彦忠彦編著『高等学校新学習指導要領の展開・総則編』明治図書出版、2009年

安彦忠彦編『高等学校学習指導要領 改訂のピンポイント解説』明治図書出版、2009年

天野正輝編『教育課程・重要用語300の基礎知識』明治図書出版、1999年

特別活動の指導法

単位数	履修方法	配当年次
2	R	2年以上



科目コード **EC3705** 担当教員 **菅野 紘**

■科目の内容

学校において教師と生徒との信頼関係および生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒が自主的に判断・行動し積極的に自己を生かしていくことができるようにするにはどのようなことが必要かを考察します。内容としては、特別活動の歴史の変遷、意義・目的、実践的な4つの領域である学級活動（ホームルーム活動）、生徒会活動（児童会活動）、クラブ活動、学校行事の内容と指導法を扱います。

■到達目標

- 1) 特別活動の意義と目的について説明できる。
- 2) 学級活動・ホームルーム活動の意義と内容について説明できる。
- 3) 児童会・生徒会活動の意義と内容について説明できる。
- 4) クラブ活動の意義と内容について説明できる。
- 5) 学校行事の意義と内容について説明できる。
- 6) 特別活動上の関連重要語句を具体的に解説できる。

■教科書

江川孜成編『特別活動の理論と方法 三訂版』学芸図書、2014年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	I 教育課程の意義①遊びの教育力	「遊びと教育」との関係を理解する。 キーワード：子どもと遊べない、遊びを知らない教師	遊びの教育的意義を学ぶ。
2	②教育課程と特別活動	教育課程と特別活動の関係を理解する。 キーワード：教えることは、共に学ぶこと	教育課程における位置づけを学ぶ。
3	II 特別活動とは何か①特別活動の歴史の変遷	特別活動の歴史の変遷を理解する。 キーワード：ペスタロッチ、デューイに学ぶ	特別活動の歴史の変遷を学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	②特別活動の目的と内容	特別活動の目的と内容を理解する。 キーワード：学校生活の活動源、栄養源、感動源は特別活動	特別活動の2機能と4領域を学ぶ。
5	III 集団活動とは ①集団活動の教育的意義	①集団と個の関係を理解する。 ②集団の教育的意識を理解する。 キーワード：学校生活は、集団活動	集団の意義と種類を学ぶ。 集団の5つの機能を学ぶ。
6	②リーダーとリーダーシップ	リーダーとリーダーシップを理解する。 キーワード：リーダーを育てる	リーダーの役割と資質を学ぶ。
7	IV 特別活動の指導原理①指導原理は	特別活動の指導原理を理解する。 キーワード：人間性を育てる	特別活動の6つの指導原理を学ぶ。
8	②望ましい人間関係	望ましい人間関係を理解する。 キーワード：人と人との関わり方	望ましい人間関係を学ぶ。 教師と生徒、生徒同士の望ましい関係を学ぶ。
9	V 「学級活動」とは①学級活動の目標	学級活動の目標と内容を理解する。 キーワード：話し合い活動が中心	学級活動の目標を学ぶ。 学級活動の内容を具体的に学ぶ。
10	②指導形態は	学級活動の多様な指導形態を理解する。 キーワード：教師は、授業で勝負	話し合い活動、討論法などを具体的に学ぶ。
11	③望ましい話し合い活動	望ましい話し合い活動のあり方を理解する。 キーワード：教師は、授業が命	話し合い活動で生産的思考を学ぶ。
12	VI 「生徒会活動」とは：生徒会活動の展開	生徒会活動の目標、意義を理解する。 キーワード：主役は生徒の学校生活	生徒会活動の目標を学ぶ。 生徒会活動の意義を学ぶ。
13	VII 「クラブ活動」とは：クラブ活動の展開	クラブ活動の意義と内容を理解する。 キーワード：趣味、特技、仲間、異年齢	クラブ活動の意義を学ぶ。 クラブ活動の内容を学ぶ。
14	VIII 「学校行事」とは：学校行事の展開	学校行事の教育的意義と内容を理解する。 キーワード：卒業式、それは成長の証	学校行事の教育的意義を学ぶ。 学校行事の5領域について学ぶ。
15	IX 特別活動の評価：評価と課題	特別活動の評価の特異性を理解する。 キーワード：人間性を見る	絶対評価と個人内評価について学ぶ。

■レポート課題

1 単位め	教育の今日的課題をふまえ、特別活動（意義や目的）との関連性を論述せよ。
-------	-------------------------------------

2 単位め

【説明型レポート】

下記について各400字以上500字以内で具体的に説明せよ。

- ① 学級活動・ホームルーム活動の意義と内容について
- ② 児童会・生徒会活動の意義と内容について
- ③ クラブ活動の意義と内容について
- ④ 学校行事の意義と内容について

■アドバイス

1 単位め アドバイス

まず、日本における現代教育の課題は何かを念頭におきながら、特別活動が教育課程上でどのように位置づけられているかを理解しましょう。

その上で、特別活動を展開することの教育的意義と目的について論述し、その課題との関連性について具体的に考察してください。

2 単位め アドバイス

教科書や参考図書等の文献を参照しながら、自身で整理し、まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

■科目修了試験 評価基準

- 1) 題意を把握し、内容を理解して論述しているか。
- 2) 論理的に考察しているか。
- 3) 文字は、正確でいねいに記述しているか。
- 4) 関連重要語句を具体的に解説しているか。

■参考図書

相原次男・新富康央ほか編著『新しい時代の特別活動』ミネルヴァ書房、2012年

『中学校学習指導要領の展開 特別活動編』明治図書、2008年

『学習指導要領 平成20年3月』（中学校・高等学校）文部科学省

『学習指導要領解説 特別活動編 平成20年9月』（中学校・高等学校）文部科学省

教育方法論 (視聴覚教育等を含む)		単位数	履修方法	配当年次
		2	R	2年以上
科目コード	EC3706	担当教員	白井 秀明	



■科目の内容

教育方法学は教育実践にもっとも近い学問分野のひとつであるといわれています。現代の教授理論を学ぶとともに、教育機器利用の意義と方法についても理解を深めることを目的とします。

■到達目標

- 1) 教育理論の変遷およびその歴史・社会的背景が対応づけられる。
- 2) 各教育理論の特長や弱点が教育理論の累計という視点から指摘できる。
- 3) 現代の日本の教育的な課題を指摘し自分なりに考察ができる。
- 4) ICTが教育に導入されることにより、教育の目標、内容、手段の質的な変換についてどんな貢献ができるのか自分なりの考えをもてる。
- 5) コンピュータに代表されるICT機器を使用するときの、教員側と学習者側の留意点が具体的に説明できる。

■教科書

多田俊文編『教育の方法と技術 四訂版』学芸図書、2009年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	授業とは何か (I)	授業に対する見方・考え方の枠を知る。良い授業の本質と良い授業の創造の過程について判断の諸観点を知る。	学校教育、授業とは「子どもの主体的な学習を保障するプロセスである」という本質を捉えてください。
2	教育課程(II)	教育課程の構造と類型について整理する観点を知る。また、教育課程の構造という観点から目的・目標、教育内容の選択と展開、さらに教育課程の評価と改善という観点から学習指導要領の歴史的な変遷についても理解を深める。	さまざまな国、時代において展開されてきた学校教育の課程について、社会情勢の変化と連動していくつかの型が登場しました。それらの違いに注目してください。学習指導要領も「揺れ動く」ことに気がついて欲しいです。
3	現代の教授理論 (III-1, III-2)	教授理論の機能を学んだ上で、これまで提唱されてきた問題解決学習、系統学習、プログラム学習、発見学習、模範学習、オープン学習、完全習得学習、総合学習などについて知り、その類型化のための視点を知る。	それぞれの学習の内容について、何を学ぶことに重きを置いたものなのか、どういう特徴や弱点があるのかだけでなく、どういう人間を期待している社会が背景にあって受け入れられたのかについても考えを巡らせて欲しいです。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
4	日本の教育課題と教授理論の課題 (Ⅲ-3)	「生きる力」、個性の育成とは何を大切にした教育なのか、基礎・基本とは何か、思考力・表現力の育成はどのように関連するのか、知識・技能の内面的進化はどのような過程で実現されるのか、等について理解を深める。	新聞で目にするいわゆる「教育用語」について、その意味するところはいったい何なのかについて注目し、可能な限り具体的なご自分の教育経験と結びつけてみてください。
5	授業の設計と評価 (Ⅳ-1～Ⅳ-3)	よい授業の条件とはなにか、そして、よい授業をつくるための評価に必要な「目標の明確化」「学習目標や授業プログラムの分析」のポイントについて知る。	授業を行う前にする設計、計画の段階から「授業を評価する」というプロセスはもう始まっている、ということに気がついて欲しいです。なぜ、どのように学習目標やプログラムを分析する必要があるのか、を探ってください。
6	授業のプログラムと評価 (Ⅳ-4～Ⅳ-7)	教育効果を高める授業形態としての個別化・集団化、さらに教師と児童のやりとり・対話といった交互作用について理解を深める。また、それらの観点から、新しい学習観に基づいて現実に行われている「総合的な学習」を振り返り、その長所や課題を知る。	総合的な学習も、現実には「なにをどう子どもたちに学ばせるのかよくわからない」と言われることがあります。その意味を授業のプログラムとその評価という視点から考えられるようになって欲しいです。
7	教育情報機器・ソフトウェアの開発と利用 (Ⅴ)	教育情報機器の種類と主に学校教育における利用の仕方について基本的事項を学ぶ。また、コンピュータ等に代表されるICT利用の実際や留意点、ソフトウェア開発と利用の実際と課題について理解を深める。	今日、さまざまな教育情報機器が子どもたちの学習支援の手段として使われています。子どもたちの学習の「何」を支援できるのか、探ってください。その上で、利用させる、利用する際の留意点について理解を深めることが「子どもたちを守る」ことになるということを深く考えて欲しいです。
8	学校・学級の経営 (Ⅵ-1～Ⅵ-3)	学校の経営としての学校系統・組織の再編成の動きについて概観し、学習指導の個別化・個性化、無学年制、各種専門職とのチームティーチング、学校と地域の連携といった学校の教育活動変革の歴史について展望する。	戦後の教育現代化の流れの中で一人ひとりの子どもの学習を大切する、組織、チーム、グループで教育効果を上げていく、という方向で教育が見直されてきたという流れをおさえて欲しいです。
9	学校・学級の経営と教育方法 (Ⅵ-4, Ⅵ-5)	学級の経営という教員の仕事を具体的に知り、学級の集団経営の類型、子どもたち一人ひとりの学習が充実したものになるための条件や集団活動活性化のための特別活動の意義を学ぶ。さらに、インターネットによる情報環境の広がりが学校経営を開放的かつ革新的にする可能性について理解を深める。	学級経営というと教科の授業とは異なる人間関係づくりと捉えがちですが、授業の中で行う「学級経営」こそ重要であるということに気づいて欲しいです。インターネットによる経営方法の変化にもぜひ注目してください。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
10	教育における評価と改善 (VII)	教育活動を改善する過程に不可欠な評価の意義と評価活動のタイプ分けをする観点を学ぶ。さらに、学校で用いられている実態把握の具体的方法やそれぞれの特徴、さらに人間形成機能という側面からみた評価活動の課題について理解を深める。	授業を目的を持った活動と捉えた瞬間から「改善のための評価活動」は必須のものとなります。教育の改善に結びつかないものは教育評価とは言えないことに気づいて欲しいです。
11	教育方法の基本的問題①学力、学習権の保障、道徳教育、学習指導要領など	学力、学習権の保障、道徳教育の課題、さらに学習指導要領の法的拘束力といった今日的なトピックスについて知り、自分の教育経験を振り返る。	教科書だけでなく、新聞やインターネットで、それぞれのトピックが含む特徴、課題について多面的に調べて欲しいです。もちろん、ご自分の教育経験と結びつけて「あの先生はこういうことにこだわっていたからこういう教育方法だったのか」などと考えてもらえたら最高です。
12	教育方法の基本的問題②総合的学習、質的研究、情報ネットワーク、教科書検定	総合的学習における体験と「学び」、教育の質的研究と教師の学び、情報ネットワークと新しい学校の姿、教科書の検定と採択、という歴史的、今日的なトピックについて知り、自分の教育経験を振り返る。	教科書だけでなく、新聞やインターネットで、それぞれのトピックが含む特徴、課題について多面的に調べて欲しいです。もちろん、ご自分の教育経験と結びつけて「あの先生はこういうことにこだわっていたからこういう教育方法だったのか」などと考えてもらえたら最高です。
13	教育方法の基本的問題③学習を支える人間関係、教員養成、教員研修	教師と生徒、生徒同士、家庭・地域・学校といったさまざまな人間関係によって学習が支えられていること、専門機関での教員養成と採用されてからの教員としての専門性を高める研修の実際と課題について知る。	教科書だけでなく、新聞やインターネットで、それぞれのトピックが含む特徴、課題について多面的に調べて欲しいです。もちろん、ご自分の教育経験と結びつけて「あの先生はこういうことにこだわっていたからこういう教育方法だったのか」などと考えてもらえたら最高です。
14	教育方法の基本的問題④家族の変貌、学校の変貌、教育・学力の変貌	学校を取り巻く家族や地域の間人間関係の変貌がどのように教育方法に影響を与えるのか、頻発する学校問題と反あるいは脱学校という考え方、グローバリズムなど今日的な視点を学び、自分の経験してきた学校教育を振り返る。	教科書だけでなく、新聞やインターネットで、それぞれのトピックが含む特徴、課題について多面的に調べて欲しいです。もちろん、ご自分の教育経験と結びつけて「あの先生はこういうことにこだわっていたからこういう教育方法だったのか」などと考えてもらえたら最高です。
15	我が国の教育実践 (VIII B)	我が国で積み重ねられてきた、あるいは現在も積み重ねられている教育実践について、主な実践たちの概要を知り、社会、国際、情報、地域といった子どもを取り巻く環境の変化の中で教育効果を上げるためになされてきた工夫について理解を深め、自分の経験してきた学校教育について振り返る。	興味を持った教育実践について、ぜひ参考文献などを手がかりに具体的実践例への理解を深めてください。最初に述べた「子どもたちの主体的な学習の保障」のための具体的な工夫に直接触れて欲しいです。自分の現在と未来を見つめ直すきっかけになると思います。

■レポート課題

1 単位め	現代の教授理論にはどのようなものがあるか、その特徴について述べなさい。
2 単位め	教育においてコンピュータを利用することのメリット、および利用する上での留意点について述べなさい。

■アドバイス

1 単位め アドバイス

テキストの3章をよく読んで、日本の戦後から今日にいたるまでの代表的な教授理論を取り上げてその特徴をまとめてください。

2 単位め アドバイス

教育工学的な視野のもとに、教育方法の改善に寄与する教育機器利用の意義と方法について、およびその利用上の留意点について考察してください。

■科目修了試験 評価基準

- ・問題設定の条件（考えを述べる、…について論じる、…を整理する）にかなっているか。
- ・的確な言葉を用い、論理的な展開がなされているか。
- ・挙げられた具体例は①読み手にわかるように、②的確なものであるか。

以上の観点によって、科目修了試験100%で評価を行う。

■参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

生徒指導論 (進路指導を含む)		単位数	履修方法	配当年次	
		2	R	2年以上	
科目コード	EC3707	担当教員	菅野 紘		



■科目の内容

教育臨床的行動問題として、校内暴力、家庭内暴力、いじめ問題、青少年の無気力化と自殺、女子非行の増加、性非行、不登校の増加、引きこもり、薬物乱用、刃物不法所持とつぎつぎと問題行動が登場し、社会問題となっています。

いま学校の中で、最も困難を極めているのが生徒指導だといわれています。そうした生徒指導に関する実態を明らかにするとともに、現実子どもたちの中で起こっている問題行動やその背景にどんな事情があるのかを検討します。

そうした検討をふまえて、生徒指導の今後のあり方と進路指導のあり方を探っていきたいと思います。

■到達目標

- 1) 生徒指導の意義と目的について説明できる。
- 2) 児童・生徒理解について説明できる。
- 3) 教育相談の理論について説明できる。
- 4) 生徒指導上の問題行動を具体的に説明できる。
- 5) 進路指導の目的と内容について説明できる。
- 6) 生徒指導上の関連重要語句を具体的に解説できる。

■教科書

江川玫成編『生徒指導の理論と方法 三訂版』学芸図書、2013年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	I 生徒指導とは何か①生徒指導の目的	生徒指導の目的と必要性を理解する。 キーワード：人間は、人間の中でしか人間になれない	生徒指導の3つの目的と必要性を学ぶ。
2	②生徒指導の領域と課題	生徒指導の領域と課題を理解する。 キーワード：発達課題をふまえての指導	生徒指導の6つの領域を学ぶ。
3	II 生徒指導と教育課程との関連：教科、道徳、特別活動との関連	生徒指導と教科、道徳、特別活動との関連を理解する。 キーワード：生徒指導は、統合指導である	生徒指導と教科、道徳、特別活動との関連を学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	III 生徒指導の組織と計画：生徒指導の組織体制	生徒指導の組織体制を理解する。 キーワード：生徒指導は、すべての教師が	生徒指導の組織体制を学ぶ。 関係諸機関との連携の必要性について学ぶ。
5	IV 生徒理解とは ①生徒理解の意味と機能	生徒理解の必要性と機能を理解する。 キーワード：生徒指導は、すべての生徒が対象	生徒理解の必要性を4つの視点から学ぶ。
6	②生徒理解の領域と内容	生徒理解の領域と内容を理解する。 キーワード：担任教師が生徒指導の第一人者	生徒理解のための方法を学ぶ。
7	V 生徒指導の方法Ⅰ—集団指導① 集団指導の意味と意義	集団指導の意味と意義を理解する。 キーワード：学校生活は、集団生活である	集団指導の4つの機能と形態を学ぶ。
8	②集団活動の指導	望ましい学級集団とはを理解する。 キーワード：望ましい人間関係を求めて	望ましい学級集団作りを具体的に学ぶ。
9	VI 生徒指導の方法Ⅱ—個別指導① 教育相談の意義と目的	教育相談の意義と目的を理解する。 キーワード：こころの扉を開くには	教育相談の意義と目的を学ぶ。
10	②教育相談の理論	教育相談の理論を理解する。 キーワード：人間を理解しよう	心理療法のしくみ、カウンセリングの3つの視点を学ぶ。
11	③教育相談の進め方	教育相談の進め方を理解する。 キーワード：生徒のすべてを受容する	教育相談の具体的な進め方を学ぶ。
12	VII 問題行動とは ①問題行動の種類	問題行動の種類を理解する。 キーワード：問題行動の低年齢化、一般化	反社会的問題行動、非社会的問題行動を正しく学ぶ。
13	②問題行動の原因	問題行動の原因を理解する。 キーワード：適応と不適応	問題行動の心理的・社会的関係を学ぶ。
14	③問題行動の処遇	問題行動の処遇を理解する。 キーワード：心を育てられるものは、心にある	問題行動の治療と予防対策を学ぶ。
15	VIII 進路指導とは：進路指導の目的と内容	進路指導の目的と内容を理解する。 キーワード：進路指導は、生き方の指導	進路指導の目的と6つの内容を学ぶ。

■レポート課題

1 単位め	児童生徒の人格形成上の発達課題をふまえ、生徒指導（意義や目的）との関連性を論述せよ。
-------	--

2 単位め

【説明型レポート】

下記について各400字以上500字以内で具体的に説明せよ。

- ① 生徒指導の内容と指導原理について
- ② 生徒理解について
- ③ 学校教育相談について
- ④ 反社会的行動と非社会的行動について
- ⑤ 進路指導の目的について

■アドバイス

1単位め アドバイス

人間が成長発達していくためには、それぞれの年代において身につけなければならない課題があります。これは、人間として望ましい「人格」を形成するために生まれたときから成人になるまで習得しなければならない成長の道しるべのことで「発達課題」といいます。

子どもは、それぞれの発達課題に挑戦しながら、その子らしい「個性」や「能力」を伸ばし成長していきます。

生徒指導を行うにあたっては、子どもがどのような発達過程を一般にたどるのかということをも十分認識しておく必要があります。それぞれの発達課題には、普通の子どもが普通の環境下にあれば達成されるはずの発達課題があるが、環境がひどく偏っている場合には、その発達課題が達成されず、それがそのときの不適応行動として現れたり、かなり後の問題行動の遠因となることもあります。

子どもの「今」だけを注視すると、しばしば現象に振り回され、対策に追われることとなります。

以上のことをふまえて、人格形成上の発達課題と生徒指導との関連性について具体的に考察してください。

2単位め アドバイス

教科書や参考図書などの文献を参照しながら、自身で整理し、まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

■科目修了試験 評価基準

- 1) 題意を把握し、内容を理解して論述しているか。
- 2) 論理的に考察しているか。
- 3) 文字は、正確でていねいに記述しているか。
- 4) 関連重要語句を具体的に解説しているか。

■参考図書

坂本昇一著『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』文教書院、1999年

松田文子・高橋超編『生き方が育つ生徒指導と進路指導』北大路書房、2008年

原田信之編『心をささえる生徒指導』ミネルヴァ書房、2009年

文部科学省『生徒指導の手引き 改訂版』

文部科学省『学習指導要領 平成20年3月』（中学校・高等学校）

文部科学省『中学校指導書 教育課程一般編』

カウンセリング		単位数	履修方法	配当年次	
		2	R	2年以上	
科目コード	EC3708	担当教員	衛藤 順子		

この科目は、教職免許希望者向けの「カウンセリング」です。福祉心理学科の「カウンセリングⅠ・Ⅱ」は『レポート課題集C（心理専門編）』をご覧ください。

■科目の内容

近年、カウンセリングの需要が高まっています。これは、日本だけではなく世界的な傾向であると言われています。そうした中、カウンセラーの専門化、資格化の動きが進む一方、「心の専門家」についての疑問も提起され始めています。カウンセリングの技法やシステムに関する論述が盛んであるのに対し、カウンセリングとは何かという本質的論議がなおざりにされているように思われます。

本科目では、カウンセリングの理論と技法の基本的な知識を学ぶにとどまらず、なぜ人はカウンセリングを必要としているか、人生におけるカウンセリングの意義、その本質を考えていくことを目的とします。

■到達目標

自分らしさを活かしたカウンセリングの実践を目標に、カウンセリングの心得、カウンセリングの理論を習得する。

■教科書

- 1) 水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編『カウンセリングを学ぶ（新版）』有斐閣選書、1987年
- 2) 追加資料（A3両面1枚）

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	現代とカウンセリング	カウンセリングの歴史を通して、現代におけるカウンセリングの意義を考察する。	カウンセリングの現代的、人間的意義を問う。
2	カウンセリングの理論的視点	創始者の個人的背景、出発点となった事例の検討を通して、理論、技法の本質をつかむ。	カウンセリングの理論、技法は、どれも創始者の個人的体験から編み出されたものである。
3	力動論の視点	カウンセリングの一つの大きな流れである精神力動論の立場について学ぶ。	精神力動論の立場とは、人間の心の構造や働きに「無意識」のもつ力を重視する。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
4	パーソナリティの成長論	人間のもっている基本的な傾向としての実現傾向を信頼し、それが最大限に発揮できるカウンセラーの態度条件を吟味したロジャーズの立場を学ぶ。	この立場の人間観は、自由意志と選択と目的をもつ人間、自己決定と自己実現の力を備えた人間である。
5	学習理論に基づく立場	行動カウンセリングの基礎にある学習理論を理解し、行動カウンセリングのあり方を学ぶ。	行動カウンセリングの人間観とは、学習する力をもつ人間である。
6	カウンセリングを求める人	カウンセリングを求める人について、危機的状況との関連から考察する。	危機的状況には、発達上必然的な危機と偶発的状況危機とがある。
7	カウンセラー（カウンセリングを受け持つ人）	カウンセラーの基本的在り方について学ぶ。	カウンセラーとしての自覚
8	カウンセリングの具体例(1)クライアント中心カウンセリング	具体例をもとに、クライアント中心カウンセリングが実際にどのようにすすむかを理解する。	過程志向的。十分に機能する人。
9	(2)分析的カウンセリング	具体例をもとに、分析的カウンセリングの治癒過程を理解する。	「鏡」としての精神分析者。「転移」「治癒的退行」
10	(3)行動カウンセリング	具体例をもとに、行動カウンセリングの原理を理解する。	悩みごとを行動におきかえる。段階的目標設定。強化とモデルと指導。
11	クライシス・インターベンション（危機介入）	危機介入の登場の歴史、その基本的な考え方と方法を学ぶ。	戦争神経症。悲哀反応。自殺予防運動。
12	現代人の生活とカウンセリング	カウンセリングが、家族、学校生活、職場などの生活上の諸領域でどのように適用されるかを学ぶ。	各生活場面にはそれぞれ特有の人間関係があり、特有の危機がある。
13	私のカウンセリング観	4人の先人の「私のカウンセリング観」を読み、カウンセリングのありようを味わう。	「理論、技法」からは伝わりにくい、カウンセリングのニュアンスを味わう。
14	教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について	学校カウンセラーの立場について理解する。	教師の役割とカウンセラーの役割
15	教育現場におけるカウンセラーの他機関との連携について	カウンセラーの教育機関・他機関との連携について、問題点を考察する。	連携の前提。

■レポート課題

本科目のレポート課題は問題形式になっています。専用解答用紙（教科書送付の際同封）に解答を記入してください。または、以下の各問題番号を記入したうえでその解答を通常のレポート用紙に記入しても可です。

こんにち、さまざまなカウンセリング、心理療法が行われていますが、いずれも、それぞれの創始者のきわめて個人的な体験から生み出されたものです。彼らの個人的体験が普遍的価値をもつようになったということが大切です。

カウンセリング、心理療法の創始者について、次の質問に答えて下さい。

問1 次の文中の①から⑮の空欄に適切な語句を入れて下さい。いずれもテキストの文中にある言葉です。(テキスト13～39頁)

- a) ジークムント・フロイトは、(①)年に、現在のチェコ共和国のモラビア地方の小都市フライベルグに生まれました。父親は(②)人で毛織物商人でした。フロイトが4歳の時に、一家はオーストリアの(③)に移住しました。(③)こそ、彼がナチス・ドイツに追われて、83歳の時、(④)に亡命するまで、ずっと住みついた土地なのです。
- b) フロイトが精神分析を創始することに、最も影響を与えたのは、先輩(⑤)でした。(⑤)が扱ったヒステリーの症例O・アンナに、(⑤)は催眠暗示療法を施していましたが、アンナが「甘える」ことを視てとっていたのでした。アンナはこのような状況で感情を吐露したのです。これを(⑥)と呼びます。(⑤)は、このやり方を催眠カタルシスと呼んでいたのです。アンナ自身は、これを(⑦)とか煙突掃除法とも呼んでいました。
- c) フロイトは、治療の方法として、カタルシス療法から(⑧)への道筋をたどるようになります。
- d) アルフレット・アドラーは(⑨)年ウイーンに生まれ、両親はユダヤ人でした。4歳までクル病のために歩行できなく、何度も路上で事故に遭いました。彼は、自分のそのような身体的虚弱の代償として、知的に優秀になることで、それを補ったのでした。アドラーは、神経症や性格の形成において重要な役割を果たすものは、(⑩)を克服しようとする(⑪)への意志であると考えました。この(⑪)への意志というのは、F・ニーチェのいう権力意志のことです。
- e) (⑫)は、1875年スイスで生まれました。父親はプロテスタントの牧師でした。彼のなかに強い宗教的色彩があるのは、父親やその一族が教会の牧師であったことと無関係ではないと思われます。母親は、(⑫)にとって複雑で問題の深い人でした。(⑫)が3歳のとき、両親は一時別居し、その際(⑫)もひどい湿疹にかかったのです。母親は情緒障害と抑うつに悩まされていたのです。母なるものの二重性、人格には、外面と内面の両面が共存しているという(⑫)の理論は幼少期からの自らの体験を通して、打ち出されたと考えられます。
- f) 「いつの時代にも、その時代に特有のノイローゼがあります。いまは、かつてないほど多くの人たちが、生き甲斐を見失い、生きることの無意味さ、つまらなさに悩んでいます」。これこそ(⑬)が強調し、現代を象徴する苦悩と呼んだものです。(⑬)の人間観は、人間の(⑭)への意志にあります。このような人間観は、自らが原体験したナチス・ドイツの強制収容所での深刻な事態を通して、より一層確実なものになりました。
- g) エリクソンは、1902年ドイツに生まれました。両親はデンマーク人でした。父親はエリクソンが生まれると間もなく亡くなり、やがて母親はエリクソンを連れて再婚しました。彼は若い頃は絵描きになるよう努力し、本格的な精神分析の訓練を受けたのは、30歳直前の頃でした。こうした生い立ちの中で(⑮)の概念が成立したと考えられます。

問2 ロジャーズの来談者中心のカウンセリングについて、以下の問に答えてください。

- a) ロジャーズが自分自身の見解を編み出すようになった、重要な経験について簡単に述べて下さい。(テキスト31～32頁)
- b) カウンセリング過程での必要十分条件について説明してください。(テキスト33～34頁)
- c) カウンセリングの目標はどういうことにおいでいますか。(テキスト73～76頁)

1 単位め

1 単位め	<p>問3 分析的カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト93～110頁)</p> <p>a カウンセラーの役割は、何とされていますか。</p> <p>b 「転移」「治療的退行」について、簡単に説明してください。</p> <p>c 分析的カウンセリングの目標はということにおいていますか。</p> <p>問4 行動カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト37～39頁、111～121頁)</p> <p>a 基礎にある理論は何という理論ですか。</p> <p>b その理論の代表的人物を3名あげてください。</p> <p>c 行動カウンセリングの原理について、簡単に説明してください。</p>
2 単位め	<p>課題1. 教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について、述べなさい。(追加資料を参照)</p> <p>課題2. (提出は任意) テキストの「3 現代人の生活とカウンセリング」(第11章から第14章)の中から関心ある分野を1つ選び、あなたの経験や見解も入れて、説明してください。</p>

■アドバイス

1単位め アドバイス

創始者のどのような経験から、その理論、技法が導き出されたのかを知ることによってそれぞれの本質をよくつかむことができます。自伝、原典を「味わう」ことをお勧めします。

2単位め アドバイス

因みに、フランクルは、「ノイローゼが治るとは、苦悩する能力を甦らせることにほかならぬ」「自由な意志と決断とをもって、苦悩に耐えながら、人生を切り拓いていく人間を健康と考える」と述べています。

フロイトは「精神分析を受けたならば、苦痛はなくなるでしょうか」という患者の質問に対し、「あなたのつまらない悩みはなくなるでしょう。しかし、人間としての悩みはますます増えるでしょう」と答えています。

■レポート用紙の使い方

本科目専用の解答用紙に記入することが望ましいが、通常のレポート用紙に問題番号等を記入して解答してもよい。

■科目修了試験 評価基準

内容理解に加え、各自の考察を重視する。

■参考図書

佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』東京大学出版会、1996年

カウンセリングを深く学んでみたい方は是非この本も参考にレポートをまとめてください。とくに1単

位め問2については、この本のa 28～31頁、b 39～51頁、c 9～13頁が参考になります。

教育実習の事前事後指導		単位数	履修方法	配当年次
		1	SR	3年以上
科目コード	EC4710	担当教員	吉井 宏・佐藤 暢芳	

※平成29年3月までの教育実習事前指導スクーリングを受講し、29年7月までに「教育実習」を終え、29年8月の「教職実践演習（高）」を受講する必要があります（p. 1参照）。

■科目の内容

教育実習は実際に生徒を対象として、教育の理論や技術、さらにその精神的基盤までも学び、研究する場です。教育実習者は未熟な学生でありながら、同時にその学校の教育活動の一翼を担う一人の教師という側面も持ちます。この大変怖いが魅力あふれる貴重な経験を2週間行うにあたっては、どのような心構えが必要か、また専門教養は最低どの程度もって実習に臨まなくてはならないか、理論に裏付けられた技術は最低限持っているのか、学習指導案や板書は万全か、など教育現場で戸惑うことのないよう、実習前に学び、確認しておく必要があります。また実習終了後は教科指導、生徒指導その他の実習の成果をまとめる必要があります。

■到達目標

- 1) 授業の内容をふまえ、学習指導案を適確に作成することができる。
- 2) 授業のポイントを押さえ、生徒を主体とした授業の展開ができる。
- 3) 知識の理解や現代社会との関連や現状について、板書を含めてわかりやすく説明することができる。
- 4) 教育実習に向けての意義・目的を理解し、心構えを説明することができる。
- 5) 教職課程における「教育実習の事前事後指導」の位置づけを説明できる。
- 6) 教育実習中の試行錯誤について、事後にその成果を文章として表すことができる。

■教科書

- 1) 事前指導スクーリング申込者に配付の『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）
 - 2) 「福祉科の指導法」の教科書『福祉科指導法入門』中央法規、2002年
 - 3) 「福祉科の指導法」の教科書『高等学校学習指導要領 解説 福祉編』海文堂出版、2010年
- ※事前指導スクーリング時に3冊の教科書およびガイダンス資料を持参してください。

■在宅学習9のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	教育課程の意義	教育実習とは何か。その意義について、教職課程を含む大学教育（講義）全体の体系から位置づけを知り、理解する。	教育実習と大学の教職課程でこれまで学んだこと（理論）とはどのような関係にあるかという点を基本に、無償の指導をして下さる実習校の先生方の立場も理解しつつ、優れた教師への第1歩を踏み始める意義を学び、理解することがポイントです。どのような教師像を描くか考えてみてください。
2	教育実習の目的・目標	教育実習の目的は、①人間形成に対する教育の重要性を身をもって知ること ②望ましい教育者精神や態度の習得 ③大学では到底不可能な研究、などが主なものであることを理解し、それらの目的に沿う目標を立てる必要があることを理解する。	大学教育の中の教育課程、さらにその中で実施される教育実習は、いつごろ、どのような手続きを経て実施されるか確実に把握しましょう。また無償で実習を受け入れてくれる学校側の立場には十分敬意を払いたいものです。それらの点を学んで、実習の心構えを作りましょう。
3	学習指導の原理	教科「福祉」の学問的特徴を学び、指導法を理解する。	教科「福祉」の考え方と学び方を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
4	教育課程と学習指導計画	教育課程（カリキュラム）と学習指導計画の特徴について、多角的に学ぶ。	旧カリキュラムと新カリキュラムの変更点を理解し、説明できるようにしましょう。
5	学習指導①	指導目標、教材研究、学習資料・教具の準備等について学び、授業の基本要素を理解する。	授業のアウトラインを理解し、必要な基本要素について考えてみましょう。
6	学習指導②	学習指導の形態・方法・技術等について学び、授業の具体的展開の基本要素を理解する。	授業の具体的な展開方法を理解し、効果的な授業のあり方について考えてみましょう。
7	学習指導案	指導案作成の意義と指導案作成の留意点について、多角的に学ぶ。	具体的な指導展開（指導過程）について、教材・教具の活用も図りながら考えてみましょう。
8	授業の検証	実施した授業について、指導教員や他教科の教員から指導いただき、多角的に検証する。	授業を客観的に検証し、生徒が主体的に学ぶために何が必要か考え、検証しましょう。
9	教科指導と生徒指導	教育実習を行うことで得られるもの一つに指導教員たちの教育技術がある。生徒たちをいかに授業に集中させるか、人間性を高めるか、技術がそこに果たす役割は少なくないが、その根底に教育的愛があることを学ぶ。	教育者精神、生徒の人格形成に寄与する意義、想像を超える膨大な教員の仕事内容等々、教育実習で学んだことは少なかつたはずですが。指導教員からはどのような指摘を受けたのでしょうか。教科指導、生徒指導両面からもう一度改善点を思い出しながら、どうすべきであったか考えてみましょう。

■レポート課題

〈実習事前レポート〉通信教育部で使用している手書き用レポート用紙の p. 1～8（パソコン印字の場合は左右40字×30行で2枚以内）に記入して、スクーリング受講後2週間以内に送付してください。

下記の(1)(2)の2つの問を合わせて2,000字以内でまとめなさい。

- (1) 教育実習の意義・目的について述べなさい。
- (2) 教育実習に臨むにあたってのあなたの心構えを述べなさい。

〈実習事後レポート〉

(1) 実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。

(2) レポートの内容は次のとおり

- ① 教科指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。

またその問題点をどのように改善したか。

[問題点の例] ここでいう問題点とは、指導教員から指摘された点、自分で工夫が足りなかったと感じた点を指す一たとえば、導入から展開のつながり、授業のヤマのもっていき方、発問の不足、無反応の授業、チョークの使い方などがあげられる。

- ② 生活（生徒）指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。

またその問題点をどのように改善したか。ここでの生活（生徒）指導とは部活動や委員会活動などのほかに、SHRやLHR、掃除時間など、教科指導以外すべての指導を指している。

(3) 以上の①②の2つの点について、4,000字以上書くこと。

ただし①と②は、それぞれ項目ごとに書き、ゴチャ混ぜに書かないこと。また①と②の枚数の比率は自由。

(4) レポート用紙は、4,000字以上記入すること（手書き用は p. 1～16を使用（用紙が足りない場合は別紙の付け足し可）、パソコン用は、左右40字×30行×4枚以上）。

■事前指導スクーリング

「教育実習の事前指導」のスクーリングは、仙台で開講します。詳しい開講日程は『試験・スクーリング情報ブック』をご覧ください。『With』巻末のハガキを使用してお申込みください。実習前に必ず受講し、講義中に「模擬授業」なども行っていただきます。毎年3月末に開講を予定しています（H27・28年度＝H28年3月末・H29年3月末に開講）。

申込みにあたっては、受講条件が課せられています。下記をご覧ください。また、3月末のスクーリングは4月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生－科目等履修生の変更など）。

■事前指導スクーリング・受講条件

「教育実習の事前指導スクーリング」受講申込締切日までに、下記の条件を満たしていることが必要です。

- (1) p. 37「大学からの依頼状発行条件」(1)～(2)を満たしていること。

※文部科学省の指導により、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です

(p. 40参照)。

- (2) 卒業要件単位を62単位以上（一括認定単位を含む）修得していること（3年次編入学者・科目等履修生はこの条件は不要）。
- (3) 下記の20科目中18科目の単位を修得していること。ただし、「介護実習」は教育実習事前指導スクーリングの受講申込締切日までに必ず終了していること。

66条の6に定める科目

①法の基礎（日本国憲法を含む） ②健康科学 ③コミュニケーション英語 ④情報処理Ⅰ

教職に関する科目

⑤教職論 ⑥教育原理 ⑦教育心理学 ⑧福祉科の指導法 ⑨高等学校教育課程の意義と編成 ⑩教育方法論（視聴覚教育等を含む） ⑪生徒指導論（進路指導を含む）

教科に関する科目

⑫介護概論 ⑬介護実習事前事後指導 ⑭介護実習 ⑮高齢者福祉論
⑯児童福祉論（21年度以降入学者は⑯児童・家庭福祉論）
⑰障害者福祉論 ⑱社会福祉原論（職業指導を含む）
⑲⑳社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ（21年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ⑳福祉心理学、23年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ㉑介護技術）

※他大学で修得した単位を教職免許のための科目に使用するためには、その科目が高等学校教諭一種免許状の課程認定を受けていることが原則です。出身校にご確認ください。入学時に提出していただいた証明書で確認できない場合は、あらためて提出していただく場合があります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位を修得する必要があります。認定単位の多い方は、ご注意ください。

また、上記の事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

- (4) 「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー1部を本学に提出済であること（p. 40を参照）。

(注) ただし、実習依頼のための書類は、p. 37のとおり①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論） ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の単位を修得した後でないとは発行できませんので、早めにこの8科目の単位を修得するようにしてください。

■スクーリング受講前の準備

とくに事前の提出課題はありませんが、各自で現場で戸惑うことのないように、スクーリング中、科目「社会福祉基礎」についての模擬授業を行いますので、指導案や教材・教具についての予習を行っておくとよいでしょう。なお、事前指導スクーリング申込者に送付している『中等教育実習の手引き』および「福祉科の指導法」で使用した『福祉科指導法入門』と『高等学校新学習指導要領 解説 福祉編』が教

科書なので、事前に読んでおいてください。また、スクーリング当日必ず持参してください。下記の参考図書も所持しているものは持参ください。

福祉科以外で実習を行う場合はその教科についての十分な事前準備が求められます。

■参考図書

硯川眞旬・佐藤豊道・柿本 誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房，2002年

保住芳美 編著『高等学校新学習指導要領の展開 福祉科編』明治図書，2010年

科目「社会福祉基礎」の教科書（中央法規等 各県の教科書供給所で購入が可）

※「福祉科」で教育実習をおこなう場合は所持が望ましい。

教育実習	単位数	履修方法	配当年次
	2	実習科目	3年以上
科目コード	EC4904	担当教員	吉井 宏・佐藤 暢芳

※平成29年3月までの教育実習事前指導スクーリングを受講し、29年7月までに「教育実習」を終え、29年8月の「教職実践演習（高）」を受講する必要があります（p. 1 参照）。

■科目の内容

大学では教職に関するさまざまな講義を聴き、理論を学びます。そして教育の重要性についての認識を深めます。しかしそこに教育の対象である現実の児童生徒がいるわけではありません。子どもたちや教員が生活を送り、使用する教育施設・設備・環境があるわけではありません。その点、教育実習は、大学だけでは到底不可能な研究を行うことができます。望ましい教育者精神や態度の習得、教育愛、教育の社会的役割を知る上でも極めて効果的な機会といえます。そして何よりも人間形成に対する教育の重要性を知ることが可能なのが教育実習です。なお、実習校には実習生を受け入れなければならない義務は一切ありません。従ってその厚意に報いる気持ちも忘れてはなりません。

■到達目標

- 1) 教育実習の意義を述べることができる。
- 2) 指導教諭等の教育実践を実地で観察し、その結果を報告できる。
- 3) 自分の実習に関する問題点とその克服方法についてまとめ、発表できる。
- 4) 自分の教職への気持ちや適性について冷静に判断することができる。
- 5) 教育理論が教育実践にどのように適用できるか試し、成果を報告できる。

■教科書

事前指導スクーリング申込者に『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）を配付予定（なお、実習受講条件、事務手続きは通学課程のものが記載されているのでご注意ください）。

■レポート課題

実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。内容・締切は「教育実習の事前事後指導」p. 33記載のとおり。

■教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件

次ページの条件を満たした方は、本冊子巻末の「教育実習 登録カード」に必要事項を記入して、通信教育部あてに送付してください。条件を確認後、「教育実習内諾のための大学から実習校への依頼状」を学生あてにお送りいたします。

- (1) 卒業後（将来）、教員として就職する意思が明確な方＝単なる免許取得のための実習ではなりません。
- (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方。
- (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、登録カード送付時点で、1年次入学者は50単位以上、2年次編入学者は20単位以上修得済みであること。
- (4) 依頼状発行時点で、「介護実習」を受講しているか、実習の日時が確定していること。
- (5) ①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論） ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の8科目の単位を修得していること。

※p. 33～34のとおり、実習受講前に修得すべき科目が多いので、その他の科目もできるだけ前年度までに多く修得するようにしてください。

※実習前年度のできるだけ早い時期に上記の8科目の単位を修得しないと、次年度の教育実習は難しくなります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位修得を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は、ご注意ください。

また、事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

※教育実習の適切な受け入れと円滑な実施を目的として、大学が必要と考える学生の方々の個人情報（成績や疾病・障がいの状況・履修カルテに記載された内容を含む）を実習校に開示することがあります。

■教育実習が不要な方

- ・すでにいずれかの教科の高等学校教諭一種免許状を取得されている方は、原則として「教育実習の事前事後指導」「教育実習」の受講は不要です（教育職員免許法6条別表4）。
- ・すでに、中学校または高等学校で2週間以上の教育実習経験がある方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考7、13ほか）。
- ・高等学校で教員として3年以上の実務経験を有する方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考10）。

■実習期間・時期

- ・実習は高等学校で連続2週間（10日間）行います。
- ・受入れ校の事情により、実習の時期が決まります。教育実習の大半は年1回5～6月のみの受け入れ校が多いですが、10～11月にも受け入れてもらえることがあります。
- ・あくまでも実習校側の期間に従ってください。ただし、実習開始は「介護実習」受講後および「教育実習の事前指導」スクーリングの受講後となります。

■実習教科

- ・高校福祉科で行うことを原則とします。

- ・ただし、福祉科のある高等学校は全国でも数少ないものです（依頼状発行者に資料送付）。そのため、どうしても福祉科のある高等学校で実習先を探すことが難しい場合、受け入れ校の理解があれば、福祉科以外で実習を行ってもかまいません（家庭科・公民科など）。その際には他教科を教えるための十分な事前準備が求められます。

■実習校への依頼方法

- ・実習校は、福祉科のある高等学校または自分の出身校に依頼することが多くなります。ただし、卒業後年数が経過している方もいらっしゃるので卒業生でなくても受け入れてくれる学校を探し、各自で交渉し、内諾を得てください。
- ・高等学校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れ制限をする学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。よって採用試験の制限以上の年齢の方は実習受け入れが難しい場合もあります。
- ・特に、3年次で実習を依頼する場合は、実習校へ3年次実習の理由（4年次において障害者（児）教育実習を行う旨）を説明しご理解をいただかなくてはなりません。
- ・以上の事由により、実習希望校へは、早めに打診し（打診後は、途中で意志を変更しないこと）実習についての情報を得てください。
- ・東京都、兵庫県、広島県、北九州市をはじめ独自の受け入れ体制をとっている地域や事前（実習前年度まで）に教育委員会への申請が必要な地域もありますので、実習希望校または各教育委員会へ早めに確認を行ってください（『レポート課題集D（特別支援編）』p.97～98も参照）。
- ・上記の問い合わせ後、大学からの実習一括申請が必要な場合は、実習前年度に通信教育部教職免許係あてに、①問い合わせ先教育委員会名、②実習希望時期、③実習希望校の候補などを明記し、書面で申し出てください。

■実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（独自の受入体制の地域を除く）。

1. 実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
最初は電話での問い合わせになりますが、言葉遣いに注意し、失礼のないようにしてください。
2. 受け入れ可能なようであれば、訪問したい旨を伝え、学校の都合を伺います。
3. 学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。
4. 初めて希望校の先生方にお会いしますので、服装・態度・言葉遣いに注意し、明朗快活に応答してください。
5. 訪問の際、大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し、希望校へ提出して内諾をもらうこととなります。内諾書は、実習校から本学へ直接ご送付いただくか、またはご自身で本学へ郵送してください。

■実習費

- ・「教育実習の事前事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は卒業・修了・退学するまで有効です。
- ・実習費のなかには、実習校への委託費、実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

■実習取消

- ・実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習校に大変な迷惑をかけることになります。
- ・万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および本学通信教育部に届け出てください。この場合、実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

■実習後

実習後、実習校へ御礼状を送付するとともに実習事後レポートを提出する必要があります。
事後指導のスクーリングはありません。

■教育実習受講条件

教育実習受講のためには、下記の条件を満たしていることが必要です。原則として、実習受講の約2カ月前までに必要書類を提出してください。実習校への正式依頼状をお送りさせていただきます。

※正式依頼状は実習開始約1カ月前をめどにお送りする予定です。

- (1) p. 36～37記載の「教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件」(1)～(5)の受講条件を満たしていること。また、p. 34記載の20科目中18科目の単位を修得していること。
- (2) 「教育実習の事前指導スクーリング」を受講済みであり、スクーリング受講後約2週間以内に「実習事前レポート」を提出し、合格していること。
- (3) 実習校への依頼状配付時に渡される「実習生個人調査票」のコピー、ならびに事前指導スクーリング受講者に渡される「健康診断書」「誓約書」の必要事項が記載されているもの、および「はしかの抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー（実習事前指導スクーリング受講申込締切日までに提出済であること）が、大学あてに提出されていること。

■単位認定通知

「教育実習の事前事後指導」「教育実習」は、①事前指導スクーリングとその後の実習事前レポート（p. 33参照）、②実習、③実習日誌、④実習事後レポート（p. 33参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は、事後レポート提出、および実習校からの実習日誌返却、いずれか遅いほうから1カ月程度で書面で通知します。

実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので、実習事後レポート提出後、2カ月以上経過しても結果が届かない場合は、通信教育部教職免許係までご連絡ください。

■「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと、実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全員、医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るまでに4、5日かかりますので、早めに受診してください。抗体を有していることを証明できるよう、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピー1部を実習事前指導スクーリング受講申込締切日、遅くともスクーリング初日までに本学に提出する必要があります。「麻疹（はしか）」の抗体がないと判断された場合は、医療機関と相談の上、予防接種（ワクチン接種）を受け、再度抗体検査を受けてください。予防接種を受けたという証明書ではなく、その結果、抗体を有しているという証明書が必要となります。

「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書のコピーの送付方法

- 1) 事前指導スクーリング申込ハガキと同時に通信教育部に送付してください。
- 2) 同時に送付できない場合は、病院に予約などをしたうえで、申込ハガキ・オモテ面に受診（予定）日を記入し、証明書のコピーは事前指導スクーリング初日に持参してください。
- 3) 数値のみではなく、「麻疹（はしか）」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピーを送付してください。
- 4) 原紙は必ず各自で保管し、実習校から提出を求められたら、いつでも提出できるようにしておいてください。

また、実習中に感染が疑われる症状（38.0度以上の発熱・咳・鼻水・目やに・結膜充血などの初期症状など）が出た場合は、実習先および通信教育部教職免許係までご連絡のうえ、欠席をお願いします。医療機関による診察の結果、自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合、大至急、実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。万一、実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も、通信教育部までご連絡ください。

■「インフルエンザ」の対策について

『レポート課題集D（特別支援編）』『介護実習』p.126～127を参照し、対策を行ってください。

■大地震時の対応について

万一、実習中に大きな地震に見舞われた際は下記の点にご留意ください。

- 1) 実習校の校長先生や実習担当の先生の指示にしたがって行動してください。震災時の学校は通常の教育活動以外の役割（避難所など）を担うことがありますので、可能な限り協力してください。
- 2) とっさの場合は避難経路などは頭に入れておき、児童・生徒、ならびに自身の安全の確保を最優先に判断・行動してください。出席簿は必ず持参して避難してください。
- 3) 実習期間中の夜間などに東日本大震災級の大地震が起こり、翌朝、実習校へ出勤が難しい場合でも実習校へ何らかの方法で連絡をとり状況を報告し指示を仰ぐようにご努力ください。なお、東日本大

震災級の大地震が起こった際の対応について、可能ならばあらかじめ実習校の校長先生や実習担当の先生などと相談しておくとういと思います。

- 4) 万一、大学と連絡がとれなくなった場合、各自で、実習校の校長先生や実習担当の先生と相談のうえ、実習を継続または延期、中止などをおこなってください。連絡がとれるようになったら、大学に状況をご報告・ご相談ください。

■さいごに

- ・教育実習は、たとえその学校の卒業生であっても必ず受け入れてもらえるとは限りません。高等学校にも実習生を受け入れなければならない法的根拠も義務もないからです。
- ・実習を受け入れてくれるのは将来教員になろうとしている学生に対する「厚意」です。皆さまもその厚意を裏切らないように取り組んでください。

教職実践演習 (高)	単位数	履修方法	配当年次
	2	SR	4年
科目コード	EC5913	担当教員	寺下 明

※平成29年3月までの教育実習事前指導スクーリングを受講し、29年7月までに「教育実習」を終え、29年8月の「教職実践演習(高)」を受講する必要があります(『試験・スクーリング 情報ブック2015』p.35参照)。

※この科目は本年7月までの実習受講者がすべて「総合演習」受講者であることから、平成27年度はスクーリング開講予定がありません。平成28年度または平成29年度の受講計画立案をお願いいたします。

■科目の内容

教員として求められる4つの事項、すなわち、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、児童生徒理解や学級経営等に関する事項、教科等の指導力に関する事項について、講義やグループ討論、ロールプレイ、模擬授業等を通じて、学生の理解度を把握し、指導をおこないます。

■履修登録条件

この科目は4年次以上で「教育実習」と同一年度かそれより後で履修登録してください。平成24年度までに「総合演習」を単位修得した方は履修の必要は原則としてありませんが、それ以外の5条別表1による福祉科免許状取得希望者は「教育実習」終了後にスクーリングを受け、単位修得が必要です。

■到達目標

教科に関する科目および教職に関する科目の履修状況をふまえ、教職科目の最終段階の科目として、教員として必要な知識技能を習得したことを確認します。

■教科書

西岡加名恵・石井英真・川地亜弥子・北原琢也著『教職実践演習ワークブック ポートフォリオで教師力アップ』ミネルヴァ書房、2013年

■レポート課題

1 単位め	(スクーリング事前レポート=教育実習終了後スクーリングの1週間前までに提出) 教育実習や履修を通じて自身に不足していると考え、および、その対応策をまとめてください。
2 単位め	(スクーリング後レポート) 教員として求められる4つの事項を今後さらに向上させるために必要と思われることを、スクーリングで学んだことを含めて具体的にまとめてください。

■アドバイス

「履修カルテ」でこれまで記載してきたこと、教育にかかわるボランティア活動、教育実習内容やその反省をふまえて、レポートをまとめ、スクーリングに参加してください。

■スクーリング講義内容

テーマ	内容
1) 教職について	履修カルテをもとにこれまでの学習を振り返る
2) 教育論	教育論について討論
3) 教師論①	現代社会の教育諸問題と教職の課題について討論
4) 教師論②	求められる教員の資質について討論
5) 教師論③	教員の仕事と役割について講義と討論
6) 教育実習の報告	教育実習についての報告と討論
7) 特別支援教育	特別支援教育についての講義と討論
8) 学習指導要領①	学習指導要領についての講義と討論①
9) 学習指導要領②	学習指導要領についての講義と討論②
10) 模擬授業①	模擬授業と討論①
11) 模擬授業②	模擬授業と討論②
12) ロールプレイング	ロールプレイングと討論
13) まとめ	教員としての資質能力の確認、総括・補完指導

■講義の進め方

演習形式で進めるが、講義や模擬授業なども行います。

■スクーリング評価の基準

授業への取り組み（プレゼンテーションや模擬授業、討議やディスカッションなど）100%により、教員としての資質能力を総合的に判断します。

■スクーリング時の教科書

教科書『教職実践演習ワークブック ポートフォリオで教師力アップ』を持参してください。

■スクーリング事前学習

教科書に目を通しておいてください。

■スクーリング受講条件

スクーリングは平成28・29年の8月中旬の連続3日間で行われる予定です（1年に1回限り）。受講する方は、下記の条件を満たすことが必要です。

(1) 入学後毎年下記期限までに「履修カルテ」を提出していること。

	発送予定日	提出締切	左記発送予定日から5日たっても「履修カルテ」が届かない場合は至急お知らせください。
4月生	3月10日	4月25日	
10月生	9月10日	10月25日	

- (2) 受講する年度の7月中旬までには「教育実習」を終了していること。
- (3) 1単位めレポートを教育実習終了以降、スクーリング受講の1週間前までに提出していること。

■科目の評価基準

スクーリング、レポート等の結果にもとづいて、教員として必要な資質能力が身に付いているかを総合的に評価します。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかととまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問とは難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずですが、どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。

レポート課題集 2015 Fダウンロード版

2015年5月10日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部
〒983-8511 (本館) 仙台市宮城野区榴岡2-5-26
電話 022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>
印刷・製本 今野印刷株式会社

©Tohoku Fukushi University 2015 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複製複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

介護実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

「介護実習事前事後指導」(23年度以降入学者は合わせて「介護技術」も) のスクーリング受講を下記のとおり希望します。

平成 27年	7/18~20	<input type="checkbox"/>
-----------	---------	--------------------------

平成 28年	7/16~18	<input type="checkbox"/>
-----------	---------	--------------------------

「介護実習」の受講条件を満たす(見込を含む)ので、「介護実習」先依頼に関する書類の送付を希望します。

フリガナ 氏名	学籍 番号		T	生年 月日	昭和 平成	年	月	日	男女
現住所	〒			電話					
				FAX					
				携帯					
勤務先	名称			Eメール					
	〒			電話					
教員免許状取得の方法			学歴						
5条別表1 6条別表4			大学卒業 短大卒業 専修学校専門課程卒業 その他						
所持している免許状・資格									
教職免許状 幼・小・中()・高()一種・二種・専修									
介護実習受入れ先				福祉科免許状を希望する理由					
1 自分で確保できる見込みがある 予定施設名 施設種別									
2 現時点では見込みはないが、自分で確保する									
3 本学関連施設での実習を希望									
実習希望時期(予定)				年 月 日					
実習免除希望(ある場合右に○を付ける)				<input type="checkbox"/> 下記の理由に該当するので免除を希望					
理由 介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学で取得									

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	入金	出席	評価	免除
5別1 6別4	可 保 不			/				

教育実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、高等学校教諭一種免許状 (福祉) の授与に必要な「教育実習」の受講を下記の期間中に希望しています。

フリガナ氏名		学籍番号	T	生年月日	昭和 平成	年	月	日	男女		
現住所	〒 -			電話							
				FAX							
				携帯							
勤務先	名称			Eメール							
	〒 -			電話							
教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)											
平成____年3月下旬 受講予定											
実習希望時期 (予定)											
平成____年5月～翌年2月 実習受講希望											
依頼状発行の前提科目の単位修得状況 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と記入してください)			教育実習受講までに必要な科目の学習計画 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と、未取得の科目はレポートや試験の欄に合格している箇所は○を、提出して結果待ちの科目は△を、これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください)								
科目名	単位数	単位修得済	科目名	単位数	単位修得済	レポート1	2	3	4	科目修了試験	スクーリング
教育原理	4	○	法の基礎 (日本国憲法を含む)	4							
教職論	2	○	健康科学	2							
教育心理学	2	○	コミュニケーション英語	2							
福祉科の指導法	4	○	情報処理 I	2							
高齢者福祉論	2 or 4	○	高等学校教育課程の意義と編成	2							
児童(・家庭)福祉論	4	○	教育方法論 (視聴覚教育等を含む)	2							
障害者福祉論	4	○	生徒指導論 (進路指導を含む)	2							
介護概論	2 or 4	○	社会福祉原論 (職業指導を含む)	4							
※上記8科目が単位修得済にならないと、この登録カードは提出できません。			社会福祉援助技術総論	4							
			福祉心理学	2							
			H23年度以降入学者 介護技術	2							
			介護実習事前事後指導	1							
			介護実習	2							実習受講 年月

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
5別16別4	可保不			/				